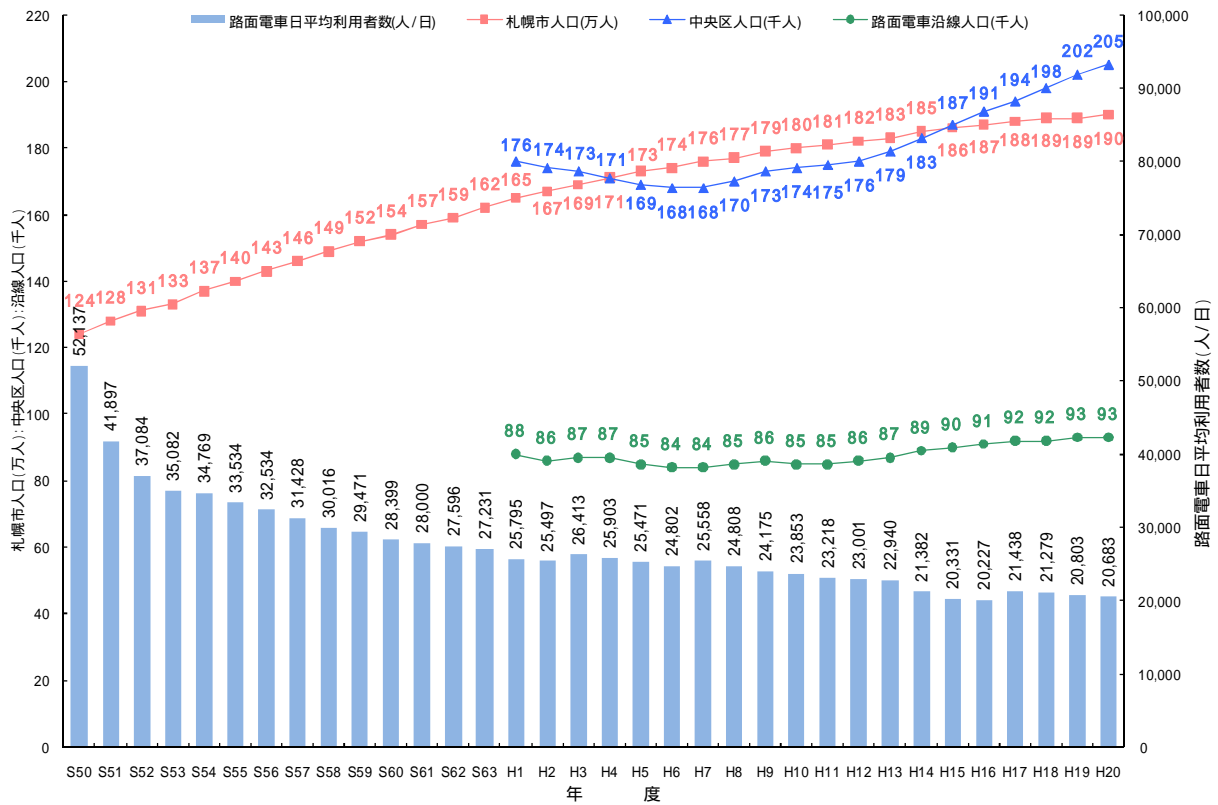


(4) 路面電車の状況

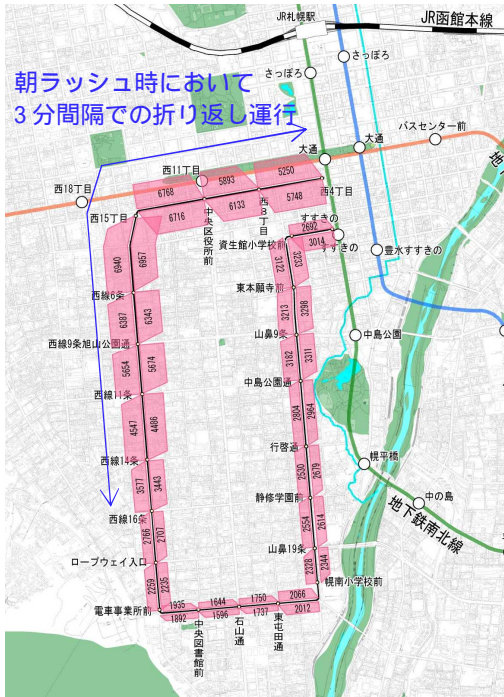
利用者の減少は続くものの、地域に必要な交通機関となっており、今後のまちづくりへの活用が期待されている。

- ・路面電車は近年、利用者が減少傾向にあるものの、1日平均2万人が利用し、特に朝ラッシュ時には一部区間（西4丁目～西線16条間）で3分間隔の折り返し運行を行うなど、交通需要が大きく、地域に必要な交通機関となっている。
- ・沿線には藻岩山やコンサートホール Kitara 等の集客施設が点在し、観光客等にとっても重要な足となっている。
- ・高齢者をはじめとした日中の利用も多いものの、施設や車両の老朽化が進んでおり、バリアフリーに対応していない状況である。
- ・現在、路面電車は国内外で人や環境に優しい特性等が見直され、交通機関としてだけでなく、将来を見据えたまちづくりへの活用が期待されている。



資料：札幌市路面電車活用方針（2010年（平成22年））

図 1-69 利用人員と沿線人口の推移



札幌市の車両

図 1-70 停留場間における輸送人員 (1月 平日)

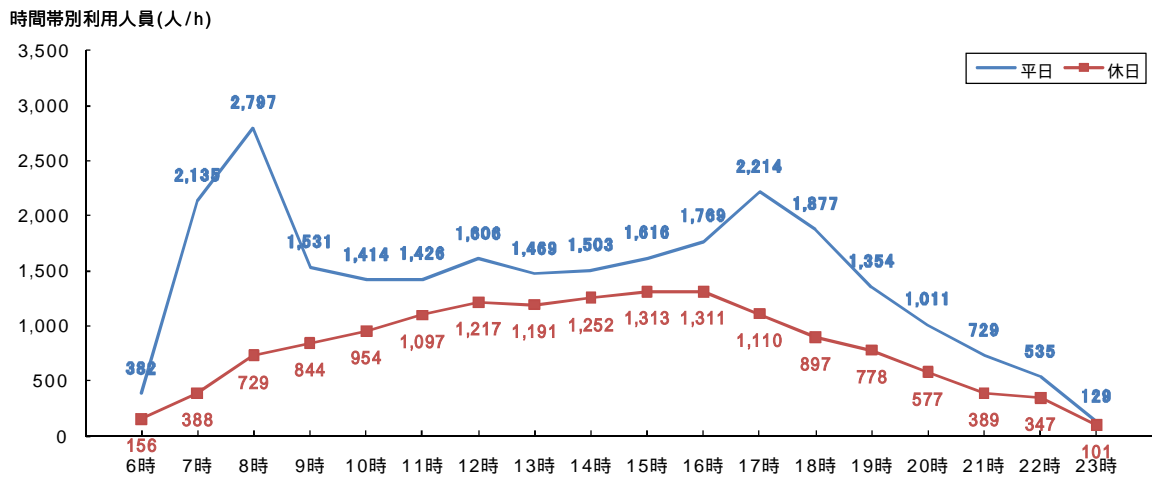


図 1-71 1日の時間帯別利用者数の推移 (1月)



フランス・ストラスブール



富山市の低床車両